

## 第6章 平成28年度 子ども・子育て支援関係実績 及び 平成29年度 子ども・子育て支援関係計画

大プロジェクト名	小プロジェクト名	事業名	担当課	内容	H28予算額	H28決算額	H28事業実績	H28 国プロ	H28 重点	H29予算額	H29事業計画	H29 重点
1 教育・保育、子育て支援プロジェクト	1) あんしん&すこやか保育応援事業	あんしん&すこやか保育応援事業	保育幼稚園課	保育士の増員、私立保育園に対する増築補助等、低年齢児の受け入れのための体制・環境等を整備する。 ○ 低年齢児受け入れ園の増改築及び保育士の加配 ○ 潜在保育士の再就職支援 ○ 看護師の増員 ○ 家庭的保育事業の推進	41,749千円	23,408千円	・保育体制の強化 ・地域型保育給付金(家庭的保育事業所:ひだまり) ・保育士確保、受入れ充実事業 ・いつでも「待機児童ゼロ」モデル事業	★		58,222千円	(子育て世代応援プロジェクト) ・第2子保育料無料化事業  (保育の「質」向上プロジェクト) ・保育士確保事業 ・地域型保育促進事業	★
		病児保育モデル事業	子育て政策課	市内における病児保育の実施可能性を調査するとともに、モデル的に病児保育を実施する。	0千円 受入可能医療機関が見込め次第予算要求	0千円	市内の医療機関と協議を進めたが、実施には至らなかった。	★		0千円 受入可能医療機関が見込め次第予算要求	既設の医院を中心に、病児保育設置にむけ協議を進める。	★
	2) 児童クラブの拡充(設備・体制)	児童クラブ施設整備事業	子育て政策課	○平成26年度9月補正において予算措置した、平成27年度の児童クラブ拡充に向けた(利用対象者を小学6年生まで拡大)施設改修費。 ○平成27年度に、綾野児童クラブ及び貴生川児童クラブを追加整備する。	80,321千円	82,360千円	児童クラブへの入所希望の増加のため、施設整備でクラス単位数を増加。 ・甲南そまっこ第2児童クラブ 新規開設 ・甲南わくわく児童クラブ 増築 ・佐山児童クラブ 新規開設		★	33,918千円 繰越明許 79,300千円	児童クラブの入所数の増加及び老朽化などの対応のため、施設の増加を行う。 ・旧水口・綾野児童クラブ解体 ・甲南なかよし児童クラブ増築設計業務 ・伴谷児童クラブ 新築	
		児童クラブ支援事業	子育て政策課	平成27年度から利用対象者を小学6年生まで拡大する児童クラブの職員確保及び処遇改善等を図るため指定管理料を増額する。	147,026千円	147,912千円	昨年度比 17,752千円の指定管理料を増額し、児童クラブの指導員確保に努めた。			177,700千円	児童クラブの指導員確保、指導員の処遇改善のため、昨年度比 30,674千円の指定管理料を増額。 児童クラブの支援単位数の増加に伴う指導員の増加を行う。	
	3) 子育て支援センターの機能充実	子育て支援員配置事業	子育て政策課	市内5か所の子育て支援センターに「子育て支援員」を配置し、地域における子育て支援の連携・協働に向けたコーディネートや、子育て支援に関係する人材の「質の向上」に向けた取組等を行う。	11,184千円	10,811千円	平成28年度から子育て支援員を「子育てコンシェルジュ」と称し、支援センター内での相談に加え、乳幼児健診や出前ひろばなどで、周知。広報や子育て情報誌等にも掲載し、子育てのガイド、相談役として広く市民へ周知する。	★		20,736千円	子育てコンシェルジュを5名から9名へ増員し、支援センター内での相談に加え、乳幼児健診や出前ひろばなどで、周知。広報や子育て情報誌等にも掲載し、子育てのガイド、相談役として広く市民へ周知するほか、メール等で相談を受け付ける体制を整える。	★
	2 身近な地域での子育て支援プロジェクト	1) 地域における子ども・子育てのネットワーク整備	こうか子ども・子育て応援団ネットワーク事業	子育て政策課	住民や行政が一丸となった「子ども・子育て応援団」としてのネットワークを構築するとともに、地域での多様な子ども・子育て支援の連携・協働を促進する助成金の創設等を行う。 ○こうか子ども・子育て応援団ネットワークの設立 ○こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金の創設	1,648千円	266千円	・こうか子ども・子育て応援団ネットワークについては、各支援センターに事務局を置き、地域ネットワークを5町すべてで開設する準備を行う平成28年度当初は水口を除く4カ所で開設。 ・こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金については、「こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成事補助金」を、補助率を1/2から2/3に変更する。 子育てフェスタ 11月12日(土)あいこうか市民ホール 森のわらべ多治見園 浅井ともちゃんと語ろう！主体性を育むとは？ 1月20日(金)かえで会館 を実施した。		★	1,648千円	・こうか子ども・子育て応援団ネットワークについては、各支援センターに地域ネットワークの事務局を置き、5町すべてで開設 ・こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成助成金については、「こうか子ども・子育て応援団ネットワーク形成事補助金」を、募集する。
2) 子ども・子育て関係団体への充実体制			学齢期の母親サポート事業「TUNAGARU(つながる会)」	子育て政策課	就学時の母親支援と母親交流、孤立する母親サポート、父親の子育て参画を目的とした学び、楽しみ、運動そして交流を行える事業を展開する。	230千円	230千円	・市民協働事業 子育て応援★CHEERS STATIONと協働し「学齢期の母親サポート事業 TUNAGARU会」を実施。各小学校を会場に年10回開催。			230千円	学齢期の子育て支援を民間委託で「つながる会」を継続して実施する。
3) 子ども・子育て関係情報の発信		子ども・子育て情報発信事業	子育て政策課	○子ども・子育て情報発信ポータルサイトの開設	4,232千円	3,317千円	「こうか子育て応援ねっと！」を市民コンテンツやカレンダー機能など、より使いやすく新しい情報更新ができるよう事業を拡充する。	★		3,060千円	「こうか子育て応援ねっと！」を市民がより使いやすいと感じてもらえるよう保守管理を行う。 また、LINE、インスタグラム及びメールマガジンの更新や情報収集などを民間事業所へ委託し、新鮮な情報をお伝えする	★

大プロジェクト名	小プロジェクト名	事業名	担当課	内容	H28予算額	H28決算額	H28事業実績	H28 国プロ	H28 重点	H29予算額	H29事業計画	H29 重点	
3 ・家庭の自立・社会参加支援プロジェクト	1)特別な支援が必要な子どもへの支援強化	児童発達支援事業指導員の増員	発達支援課	計画相談支援及び障害児相談支援を充実するために、児童発達支援事業指導員を1人増員する。	9,939千円	9,818千円	安定的に支援を実施する体制を強化した。			12,642千円	安定的に支援を実施する体制を強化する。		
		教育相談事業の運営	発達支援課	甲賀市内各園・学校その他家庭訪問等、教育相談事業における訪問のための公用車を充実する。	967千円	728千円	相談・訪問に使用する公用車を配置し、訪問体制を整えた。			1,024千円	発達検査員を増やし、安定的に支援を実施する体制の強化に努める。		
		「発達障がい児を持つ保護者・教育者・関係者の発達障がいへの理解・対応・連携を学ぶ研修会」開催事業	発達支援課	保護者や支援者が発達障がいを正しく理解し、対応・支援できるよう、関係者が一同に集う効果的な研修会や講演会を実施する。	100千円	90千円	・市民協働事業として、こころはなまると協定を締結し、事業を実施。 学齢期保護者学習会 4回 教員と保護者が共に学ぶ研修会 1回 こころあひバスポート研修会 1回 ・また、「こころはなまるセミナー」を共催。 ・幼児期の保護者向け学習会(4回連続)、こども未来課との共同での保育士向け研修会(延べ12回)、学校教育課主催の保護者、教職員向け研修会への参画、学校におけるPTA研修等、課主催、共催等で多数の研修会に講師として参加した。			80千円	・発達支援課の単独事業として、10月～12月に保護者向けの4回の連続学習会を対象年齢別に2講座開催予定。 ・支援者向け研修会として、①保育幼稚園課との共同開催で保育園幼稚園職員や児童クラブ職員対象の研修会を2種類開催。②学校教育課主催の教職員対象の発達障がいに関する研修会、保護者対象の就学・進路に関する研修会に共同参画する予定。 ・地域(民生児童委員、健康推進員、園・学校のPTAなど)からの要請により、発達障がいに関する研修を実施する。 ・甲賀地域障害児者サービス調整会議に参画し、発達障がいについての啓発的な研修会を実施する。		
	2)ひとり親家庭への支援強化	ひとり親家庭支援の充実	学習支援事業	生活支援課	生活困窮世帯の小・中学生及び高校生を対象に、家庭の生活困窮に起因し、子どもに不足している「生きる力」や規則正しい生活習慣を身に付けること及び居場所づくりを行い、学力不足や不登校など「負の連鎖」による将来の生活困窮の解消をめざし、学習支援事業を実施する。	13,292千円	10,407千円	平成27年度から実施の「水口教室」に加えて「甲南教室」「信楽教室」の2教室を開校し、3か所で学習支援事業を実施した。(直営2教室 委託1教室) 小・中学生に加え、中退防止のため高校生も対象とした。 信楽教室 火曜日 水口教室 水曜日 甲南教室 木曜日  延べ開催回数 119回 登録生徒64名 延べ出席者数 1,318名		★	17,091千円	平成28年度に実施の「信楽教室」「水口教室」「甲南教室」に加えて「水口月曜教室」「甲南金曜教室」を開校し、4ヶ所5教室、月曜日から金曜日まで実施する。(直営1教室 委託4教室) 今年度実施予定回数 各教室40回  水口月曜教室 月曜日 信楽教室 火曜日 水口水曜教室 水曜日 甲南木曜教室 木曜日 甲南金曜教室 金曜日	★
			ひとり親家庭への支援強化	子育て政策課	母子家庭等高等職業訓練促進給付金の増額をはじめ、ひとり親家庭への支援を充実する。 ○母子家庭等高等職業訓練促進給付金の増額 ○ひとり親家庭ふれあい交流事業の拡充 ○ひとり親家庭福祉の会活動補助金の増額	6,570千円	2,777千円	○ひとり親ふれあい交流事業 市内の各子育て支援センターにおいて開催する。 ・水口地域 10月22日 インスタトゥーム発明記念館(バス定員10組) ・土山地域 9月4日 手打ちうどん作り(交流会定員12組) ・甲賀地域 10月29日 餅つき体験(交流会定員12組) ・甲南地域 8月27日 京都鉄道博物館(バス定員15組) ・信楽地域 11月13日 名古屋科学館(バス定員15組) ○ひとり親家庭福祉の会の活動補助金として、700,000円を交付 ○ひとり親家庭入学支度金 ○母子家庭等高等職業訓練促進給付金 ○自立支援教育訓練給付金 ○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金【新】			8,802千円	○ひとり親ふれあい交流事業 市内の各子育て支援センターにおいて開催する。 内容:バス旅行、親子体験、相談会 など ○ひとり親家庭福祉の会の活動補助金として、700,000円を交付 ○ひとり親家庭入学支度金 ○母子家庭等高等職業訓練促進給付金 ○自立支援教育訓練給付金 ○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 ○ひとり親就労支援専門員を配置【新規】	
	3)外国人児童のコミュニケーション支援強化	母国語支援員の配置	子育て政策課	外国人の方への子育て支援を行っていくため、今後、母語支援員の配置。	2,349千円	2,349千円	外国人の方への子育て支援を行っていくため、母国語支援員(ポルトガル語スペイン語)配置。通訳の他、通知文等の翻訳を行った。				2,419千円	外国人の方への子育て支援を行っていくため、母国語支援員(ポルトガル語スペイン語)配置。通訳の他、通知文等の翻訳を行う。	
			保育幼稚園課	○日本語が堪能でない保護者、園児への通訳・翻訳等(家庭通信、懇談、行事等)	2,553千円	2,526千円	○日本語が堪能でない保護者、園児への通訳・翻訳等(家庭通信、懇談、行事等)				5,222千円	○日本語が堪能でない保護者、園児への通訳・翻訳等(家庭通信、懇談、行事等)	

大プロジェクト名	小プロジェクト名	事業名	担当課	内容	H28予算額	H28決算額	H28事業実績	H28 国プロ	H28 重点	H29予算額	H29事業計画	H29 重点
4 子育てと仕事の両立推進プロジェクト	1)ワーク・ライフ・バランスの啓発促進	マザーズ就労相談	商工労政課	結婚・出産により離職し、再就職を考えている方、仕事と子育ての両立に悩んでいる方等の「働きたい女性」を支援するために専門のキャリアカウンセラーによるお仕事相談	750千円	776千円	結婚・出産により離職し、再就職を考えている方、仕事と子育ての両立に悩んでいる方等の「働きたい女性」を支援するために専門のキャリアカウンセラーによるお仕事相談(カウンセリング)を各町子育て支援センター等で各町2回ずつ全10回実施する。	★	★	850千円	・仕事と子育てを両立して働きたい方や資格スキルアップを目指したい方など、働きたい女性を対象とし、専門のカウンセラーによるカウンセリングを5回開催する。	★
	2)市内事業所に対する子育て応援企業認定制度の創設	こうか子ども・子育て応援企業認定事業	子育て政策課	市内に所在する企業うち、子育て応援に積極的に取り組む企業を「こうか子ども・子育て応援企業」として認定し、市広報等により広く周知する。			子ども・子育て応援団ネットワーク事業と併せて、企業アピールやメリットなどを検討。				子ども・子育て応援団ネットワークで地域で子育てを応援するまちづくりを周知していく。 また、女性活躍推進室では「イクボス宣言」を計画し、事業所で子育てを支援する普及を行う。	
5 子どもと子育て家庭を支えるプロジェクト	1)妊婦健康診査助成の拡充	妊婦健康診査公費負担の拡充	すこやか支援課	妊婦健康診査の基本健診に係る公費負担を、1人あたり20,160円増額し、46,200円とする。 《参考》標準的な基本健診費用 1人あたり68,480円	66,192千円	56,694千円	妊婦健康診査の基本健診に係る公費負担を、1人あたり46,200円として、超音波検査及び子宮頸がん検査なども含め受診券の交付をおこなっている。			66,192千円	従来の妊婦検診助成にプラスして、多胎妊婦について、3500円×5回分の助成を行う	
	—	小中学生通院医療費助成(子育て応援医療)	保険年金課	小学1年生から小学3年生の全ての児童を対象(所得制限の廃止)に、通院にかかる医療保険の自己負担額の全額を助成する。	84,717千円	64,972千円	H27年度に引き続き子育て応援医療制度を実施するとともに、小1～中3までの医療費助成を県制度としてもらえるよう県に要望した。		★	95,688千円	10月より、子育て応援医療制度の対象者を小学校6年生まで拡大するとともに、中学校3年生までの医療費助成を県制度としてもらえるよう引き続き要望する。	★
	2)(仮称)子育て総合支援センターの整備	子育て世代包括支援センター事業	子育て政策課	子ども・子育て支援を行うワンストップ拠点を鹿深夢の森内に整備し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う。	228,000千円	219,253千円	甲賀町大久保地内鹿深夢の森内に妊娠出産から子育て全般をサポートするため、子育て支援のワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを整備。平成29年4月に開設した。	★		23,339千円	産前・産後・育児に関する一連のサポートを目的に相談業務等を含めた事業を実施する。	★
	3)子ども・子育て関係職員の資質向上・人材育成	子育て支援センター指導員、子育て支援員、児童クラブ指導員の研修	子育て政策課	子育て支援に関係する指導員等のスキルアップや、子どもをとりまく現状等の情報収集のため、研修会を実施する。	388千円	10千円	指導員の資質向上、人材育成のため研修を実施。 ・発達支援 ・小児アレルギーについて 他		★	300千円	子育て支援に関係する指導員等のスキルアップや、子どもをとりまく現状等の情報収集のため、研修会を実施する。	
	保育士研修	保育幼稚園課	○職員研修(保育内容、特別支援、乳児保育等) ○スキルアップ研修会 ○家庭的保育者基礎研修会	448千円	300千円	・職員研修(園長研2回、主任研3回、保育内容、特別支援、乳児保育等) ・スキルアップ研修会(年間5回) ・家庭的保育者基礎研修会(21時間 実習2日) *H28年度は、外部講師依頼。	★		210千円	・職員研修(園長研2回、主任研2回、保育内容、特別支援、乳児保育等) ・スキルアップ研修会(年間4回) ・家庭的保育者基礎研修会(21時間 実習2日) *H29年度は、外部講師依頼予定。	★	